

## Lesson 10 New Classic Blues Rhythm

### Lesson 10 ブルースリズム

今回は、ブルースの有史以来、JAZZ やポップスなどでも活用されてきたとても有名なりズムパターンを紹介するよ。きっと聴いたことがあるよ。

-playing(0:17)-

6 弦開放 E をメインとしたとてもシンプルなパターンだね。  
人差し指で 5 弦 2 フレット A を押さえて、5 弦 4 フレット C# は薬指だ。

-playing(0:44)-

Jimmy Reed がこのパターンの先駆者だね。  
この次に IV コードの A に行くよ。  
弦が変わるだけで今までと全く同じ動きだよ。

-playing(1:05)-

(2:11)

気付いたかもしれないけど、途中いくつか違う音（5 弦 5 フレット D など）を混ぜたよね？

-playing(2:16)-

もちろん、やってもやらなくてもいいんだけど、ちょっとスライドアップしてやるだけだよ。

-playing(2:27)- (半音ずらすだけだ) (そして、同じことを A コードでも)

#### 【注記】

- ・押弦するポイントについて Robben は様々な言い方をしていますが、ここでは「5 弦 3 フレット C」「6 弦開放 E」などの表記に統一します。
- ・翻訳モノにありがちな読み難さの一因となっている「直訳」を排除した結果、Robben の実際の言葉とは若干違った表現になっている個所がありますが、読者にとってのストレスのない自然な理解を促すためのものであり、Robben が言わんとしていることはそのままに、大局を損なうことのない翻訳を心がけました。
- ・モードの解説において「○○スケール」と「○○モード」の言葉の使い分けはせず、Robben の言に最大限忠実に訳しながらも、より理解をしやすいうように、柔軟にそれぞれを言い換えて訳しているケースもあります。

翻訳 山岸敦